

ぜひ、お越しください

花輪ばやし若者頭協議会

会長 佐藤 圭太



世界に誇れる「花輪ばやし」。ユネスコ無形文化遺産に登録されてから2年目の祭典となります。

昨年は26万人という、今までにない程のお客様にお越しいただき、花輪ばやしの魅力を発信できたと思っています。

若者が中心となる花輪ばやしは、豪華絢爛な屋台の中で、力強いリズム感のあるお囃子が一体化し、見ている方もじっとしてはられないような躍動感に満ちた祭りです。

今年も県内外や世界からも注目される花輪ばやしを「また見にきたい」と思っていただけに、私たち若者頭協議会が役割を担い、安全な運行に留意しながら、全町一丸となって祭典の成功に向けてまい進していきます。

初日の8月19日には、「子供パレード」が開催されます。花輪一中、比内支援学校かづの校、花輪小、東京都葛飾区立よつぎ小の生徒や児童、また、花輪さくら保育園とわんぱくはうすの園児も参加する、盛大なパレードとなります。将来の花輪ばやしを担う、頼もしい姿をぜひご覧ください。



特集 鹿角の夏を彩る



国指定無形民俗文化財

毛馬内盆踊り

岡毛馬内盆踊り振興会

(コナンカード協同組合内)

☎30-36936

【日】 8月21日(火)〜23日(木)
【場所】 毛馬内こもせ通り

秋田県三大盆踊りの一つに数えられる「毛馬内盆踊り」は、大太鼓と笛の囃子で踊る「大の坂」と、無伴奏の唄のみで踊る「甚句」の二つで構成されています。

伝統の祭りの魅力をより一層引き立てる昔ながらの「こもせ」の街並みを背に、かがり火を囲む情緒豊かで優雅な踊りをぜひご覧ください。



柳沢 卓也さん



毛馬内盆踊りは、参加することが当たり前の地域行事でした。もともとは、両親が毛馬内盆踊りに携わり、幼い頃から両親についていくことで参加していました。
卓也さんには、中学3年生のさくらさんと中学1年生のハルさんの2人の子どもがいて、子どもたちも早くから卓也さんと同じように参加しています。

踊りの魅力

「小さい頃は、家族にやらされている感じがあり、好きという印象は正直なかった。でも、やっているうちに踊りきることの楽しさや、この地域行事を続けていくべきという使命感が自分の中で芽生えていました。」
そう話す卓也さんは、太鼓や笛、歌い手、踊りなどさまざまな役割がある中で、踊りが一番好きだと言います。

踊りは、男女が同じ振り付けで踊ります。しかし、男性は「力強い」、女性は「しなやか」と違う魅力があると話します。

卓也さんは、20歳の頃から、女性の踊りの美しさを表現しようと、男性でありながら女性の着物に身を包み、女踊りをするようになりました。「しなやかで、綺麗な女性らしい踊りをして、観客に女性だと思わせたらなんか嬉しいんです。それも自分の中では、楽しさの一つになっています。」

踊れなくなるまで続けたい

「自分の子どもたちにも、3〜4歳の頃から毛馬内盆踊りに触れさせていた。最初はただ私についてきて、見よう見まねで踊りの輪に入って、

